

# キッズだより



令和6年11月 第32号  
たかといちどいキッズ



## 子は親の鏡

「親が他人を羨んでばかりいると、子どもも人を羨むようになる」

『隣の芝生は青く見える』昔からある言葉です。1度は耳にしたことがあると思います。意味は、他人が持っている物が自分の物よりよく見えてしまう、でも自分の持っている物の良さには気づかず、悪い面ばかり気になる心理です。「〇〇くんはできるのに、なんでできないのかな」「〇〇さんの家には、最新の電化製品があったのに」などと、他人と比べていませんか？兄弟関係でも同じです。「お姉ちゃんは、お母さんの手伝いをしてくれておりこうさんなのに…。」「お兄ちゃんは、勉強もスポーツもできるのに…」と親が比べたり羨んでばかりいたりすると、いい気持ちではありません。

保育園では比べることはしませんが、「〇〇ちゃんが野菜食べているよ。〇〇くんの食べているところ見たいな～。あっ食べられたね。すごい」「〇〇くんと一緒にうれしいね」と相手の良さや素晴らしさを素直に認め、自分もやってみようと思えるように関わっています。他人を妬んだりそねんだりすることがないように教えなくてはなりません。その子の個性を認め、長所を伸ばしてあげることが大切だと思います。欠点ばかりに目を向けていたら、お互いに何もいいことはありません。子どもの話に対して、真剣に耳を傾ければ、子どもは自分が大切にされている、認められて愛されていると実感できます。そして私たち大人は自分の欠点も長所もすべてそのまま素直に受入れる人でありたいです。子どもはそんな大人の姿から様々なことを学ぶことができます。自分の不完全さを受け入れ、己の幸福を幸福とする大人の姿が、子どもにとっては何よりの手本になるのです。

今年度も半分が過ぎました。子どもたちは、すっかり保育園生活に慣れ、今では登園時に満面の笑みで「おはよう」と言葉や身体で表現するようになりました。今までは、2つのグループ中心の生活をしていたのですが、今月から年齢別クラスでも遊ぶ時間を設けることにしました。4月から子どもの月齢・発達に応じた丁寧な関わりをしてきました。そして少しずつ月齢差も縮まり同じ遊びが楽しめるようになってきました。11月からの1日の生活時間帯をお知らせします。

- 7:00～ 8:30 合同
- 8:30～10:00 グループ
- 10:00～11:00 クラス
- 11:00～16:00 グループ
- 16:00～19:00 合同



### 11月の予定



- |      |        |      |        |
|------|--------|------|--------|
| 誕生会  | 6日(水)  | 避難訓練 | 14日(木) |
| 救急訓練 | 20日(水) | 発育測定 | 22日(金) |





あけび・つたねみ



ポットン落としの容器に興味をもち、容器を振ったりキャップを握って叩いてみたりしていました。「ここに入れてみようか」と声をかけると、容器の中にキャップが入ったことに大喜びしていました。今では指先を使ってつまめるようになり、キャップを積み上げることやロンディーを繋げることを楽しむ姿が見られるようになってきました。これからも手指を使った遊びをたくさん取り入れ傍で見守り、楽しい気持ちに共感して、十分に楽しめるようにしていきたいと思います。

スプーンを持ち、嬉しそうにしている子どもたち。手を添え一緒にすくったり、一口量のをせたりして、スプーンを使って食べられるようにしていきます。



入るかな？



これはどこかな？



繋がるかな？

今月のねらい：保育士と一緒にスプーンを使って食べようとする



ひたねみ



着脱に興味をもち、ズボンを穿くことに挑戦している子どもたち。ズボンをトンネルに見立て、「〇〇くん車出発」「足を入れたら向こうから出てくるよ」と言うと、「しゅっぱつ！」「ばあ」と言って足を通そうとする姿がありました。やってみようとする姿を十分に認めたり、ズボンに足を通して嬉しい気持ちに共感したりすることで、最後までズボンを穿けるように関わっています。お尻まであげることを難しそうにしている時は、さりげなく手伝い、ズボンが穿けるように援助していきます。

子どもたちは、動物や乗り物になりきることが大好きです。一人ひとりの自由な表現を認め、簡単な会話をしながら表現遊びを楽しめるようにしたいと思います。



ここを持って



はけたよ！



今月のねらい：友だちと一緒に自由に表現遊びをすることを楽しむ



ひたねみ



散歩に出掛けるのにいい季節になってきました。子どもたちは道中の葉っぱを見て、「あかになっている」と興味津々。色や大きさの違いを知らせると、「あっちはみどりいろ」「おおきいはっぱ、みつけた」と嬉しそうに探していました。公園では、どんぐりを夢中で探す子どもたち。たくさん見つけたことを一緒に喜んだり、気づいたことを共有したりすることで、子どもたちはワクワクした表情で触れていました。これからも秋の自然を満喫できるように散歩に出掛けたいと思います。

季節の変わり目を健康に過ごせるよう、一つひとつ丁寧に手の洗い方を伝えたり援助したりしていきます。



どんぐりどこかな



いっぱいみつけたよ



いろんないろのはっぱがいっぱい



今月のねらい：手洗いを丁寧にする



12月



保育士が誘いかけると、自分で着替えをしようとしている子どもたち。様子を見守りながら「ズボン脱げるかな」「袖を引っ張るんだよ」などと声をかけたり、さりげなく手伝ったりしています。自分でしようとする姿や自分で着替えられたことを認めると、満足そうにしています。引き続き様子を見守りながら、必要に応じて仕方を伝え1人で着替えられるようにしていきます。

今月は、たかとりちどり保育園のにじ組と交流する機会を増やしていきます。一緒に遊ぶことを楽しめるように仲立ちをしていきます。



今月のねらい：たくさんの友だちと一緒に遊ぶことを楽しむ



### 《子どもの時の経験》



私はお菓子作りが大好きです。予定のない週末になると朝からお菓子作りに没頭しています。お菓子の中には生地を一晚寝かせるものもあり、2日にわたって作ることもあります。クッキー缶に挑戦した時は、完成まで3日かかりました。他にもマカロンやフィナンシェ、ロールケーキ、タルトなど、可愛いお菓子が作れるようになりたくて何度も挑戦してきました。何回も失敗しましたが、試行錯誤することでおいしく作れることが増えました。自分で分量や温度を調節しながら綺麗に焼けるように考えるのもお菓子作りの楽しさの一つです。祖父母や兄弟の誕生日にサプライズでケーキを持って行くと、とても喜んでくれて、「おいしい！！」と食べてもらえる嬉しさを知りました。そしてもっと様々な種類のお菓子を上手く作れるようになりたいという思いが強まりました。今は休みの日に何か一つは新しい種類のお菓子を作ることを目標にしています。

たくさん作っている中で「なんでこんなにお菓子作りが好きになったのだろう？」と、ふと思いを考えてみました。思い返してみると、小さい時の経験が影響しているなと感じました。きっかけは、母が毎年兄弟5人の誕生日ケーキを焼いてくれたことです。その様子を見て私もやってみたいと思うようになり、母に伝えると「大変やで～」と言いながらも私の作りたいお菓子と一緒に作ってくれました。完成した時には、とっても大きい達成感と、満足感を得られました。私もやればできるのだなという自信にもなりました。この“興味のあることを一緒に楽しめた経験”が、現在私のお菓子づくりの探求心に繋がっているのだと感じます。小さい時の経験は成長につれて記憶が薄くなりがちですが、大切なことだなと実感しました。

私が感じた達成感や満足感を、子どもたちにも経験してほしいなと思います。子どもたちの興味・関心事を知り、一緒に思いきり楽しめるようにしていきたいです。お子さんの好きなこと・興味のあることをたくさん共有できると嬉しいです。

荻田 珠輪羅

